



Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, likely a title or author's name, written on a light-colored paper strip with blue ink wash accents.

特別  
A5  
6590  
174



5  
6590  
174

初雨相



玉ふけゆてとれらふ宿の物さうそおの  
なまらふあめ

10  
えとせと初おあまて後瑞之命の山お  
あまらうりうり

1  
結ころもきのふは清光の命の上お  
あまらうりうり

10  
岩盤あま神おのうまは神  
あまらうりうり

10 庭もせの庭もさうしおたる物もおの光りもさうさ物屋の敷

11 いろくろふせ枝の上も葉も枯れてさきさふもあともおとかしり

10 吹風ふすゆきも井しものも乃をくすさ枝よりぬれはこ

11 枯らさきそを登よぬるふ葉の光とかしりしてし川もおをさ

おやまきさかひうましくぬのくおをわうらんよふふくは葉の光

11 千竹の井くおふさきもさきさういさおをわうしうららわらわ

10 そよの上ふくうまぬくもあをとり葉れおとむすふさうくぬ

10 西のあやまのうきありゆをぬぬおの物もくけくれ

10 花もぬる物も風のほりてゆもおわうさのよふ砂地

11 草もふも老そのあををさうさおれよさるは物のおお

10

10

10

10

ふさかふさか

ふさかふさか

おきてる御の若お昔衣生るしんがらてあはれし

あはれするの毎京いりあはれし

東海の中をやまつりあはれし

あはれしあはれし

あはれしあはれし

あはれしあはれし

あはれしあはれし

あはれしあはれし

あはれしあはれし

あはれしあはれし

一 宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事

一 宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事

一 宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事

一 宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事

一 宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事

一 宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事

一 宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事

一 宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事

一 宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事

一 宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事  
宗廟の事

二平の松の葉を採れを端してさくらをきくおの神歌

恋を神てふ山ついでに神歌乃すふ路ふ約白を

10 光程よるまのやとるひ子の浦に生れゆゆ博古今約の神歌

10 いろくにあゝそいさるる葉のむつと一れをさ乃を川を

10 花さきに去地の春を夏あれやむかき枝に物をおそ

少別後す智の長橋物おにほひせ通ふ約ふみお板

10 秋の色を満すいつら物をおにさか笑ぬる色のおおそ

10 本々おまふもあしにちりる物をおのおそそは白くうれま

10 庭もせはまうとを採ぬ是所のつねうかこるるおのいろ

10 今分るる今朝はまうとをよりのくまの山一おはるるお

10 九重のやうにかりて印たのちおまゆるるやめのさそり

10 くらりしおのころにさきさる花よまそふ今釣のまのた

10 おしとらやねのうらうらと種はうさたのたれをうらふぬるゆを

10 釣のますきりさといふまはりのこのままきりし結りてはを

10 くらまねや半一階の池水もれもねをさうふさくおの釣

10 秋よえし色むら油とまのゆてはさうらまね花をほたる

10 針のまに今釣かゆてままのまの釣りさうらにてんし

10 猿はねおよねまねもまらうさそあまねよおまのにおく

10 くらりてさうらおそおさうらまねのこの釣のまのた

10 あじ吹山家のままらうらうらとままゆるまのた

ふほたる

ganio

れ

らちま

俗言し

くらりにさる

10 川のほとりへ冬を告ぐるらうー社はずのふきうう今新に家のあはれ

いづれか

社のおくつしおき床のあてををぬとえーうにまると川を

10 あーいおきふ社をきあえそくは後りわら橋のゆき

おむれて入らう海むす野あつとえにらうや今朝のそ川を

10 うつらぬさるまき葉のそぬえ今新やゆら庭のあはれ

10 社のおくつしおき床のあてををぬとえーうにまると川を

あーいおきふ社をきあえそくは後りわら橋のゆき

おむれて入らう海むす野あつとえにらうや今朝のそ川を

10 うつらぬさるまき葉のそぬえ今新やゆら庭のあはれ

10 社のおくつしおき床のあてををぬとえーうにまると川を

あーいおきふ社をきあえそくは後りわら橋のゆき

おむれて入らう海むす野あつとえにらうや今朝のそ川を

10 うつらぬさるまき葉のそぬえ今新やゆら庭のあはれ

10 社のおくつしおき床のあてををぬとえーうにまると川を

あーいおきふ社をきあえそくは後りわら橋のゆき

おむれて入らう海むす野あつとえにらうや今朝のそ川を

10 うつらぬさるまき葉のそぬえ今新やゆら庭のあはれ

10 社のおくつしおき床のあてををぬとえーうにまると川を



10 新月よるに <sup>つら</sup> 此處の物をおとくまきてまんとぬ人のとく

1 物をおとくまきて <sup>つら</sup> 此處の物をおとくまきてまんとぬ人のとく

1 ぶり物よるまの <sup>つら</sup> 此處の物をおとくまきてまんとぬ人のとく

1 秋をぬているの <sup>つら</sup> 此處の物をおとくまきてまんとぬ人のとく

1 じら <sup>つら</sup> 此處の物をおとくまきてまんとぬ人のとく

1 物をおとくまきて <sup>つら</sup> 此處の物をおとくまきてまんとぬ人のとく

1 物をおとくまきて <sup>つら</sup> 此處の物をおとくまきてまんとぬ人のとく

1 物をおとくまきて <sup>つら</sup> 此處の物をおとくまきてまんとぬ人のとく

1 物をおとくまきて <sup>つら</sup> 此處の物をおとくまきてまんとぬ人のとく

1 物をおとくまきて <sup>つら</sup> 此處の物をおとくまきてまんとぬ人のとく

1 照らす月の桂の庭乃ま砂也りしをそしめしる今初の御書

1 書ある老望の初の花は花をおもひそめて白ひはるる花

1 風やまゝ集そ知られち井川とに成りおけるまゝ

1 千早振る所の橋は風をこかこしく袖うけあはれ

1 神菊備ぬむろの山は柳葉の産産のたにまらぬ

1 今初なる道の山世のぬあそむはあもやまなりのい

1 宮よりのくまき拵れて痛の山さうし斗におけるを御書

1 秋のたれ余振るし庵こそ山寺の庵の上におくる今初の御書

1 麻のきもたたくるてあをぶらうの初<sup>あはれ</sup>の明の御書

1 又度せらぬおまをまてふるは乃書ありわくあした地のまら



副頭亮

盛加

野の宮の宮に清和は

神すまはるゝ

あまの宮に

今御の御

十九

後... 霜

漸馨

十八

後... 茂成

茂成

十七

後... 千弘

千弘

十六

後... 茂成

茂成





乃  
茂成

乃  
盛加

乃  
茂成

乃  
昌光



卷  
腹

福

~~~~~

~~~~~

~~~~~

鹿子

二  
其

~~~~~

~~~~~

漸  
磬

三

~~~~~

~~~~~

漸  
磬

つらみ

月後の月夜に

さしとせまきしる梅のひこも

深き月夜にさしとせまき梅の

ひこもさしとせまき梅の

りま

月夜

Handwritten cursive script, likely a musical notation or a specific character.

Handwritten cursive script, likely a musical notation or a specific character.

Handwritten cursive script, likely a musical notation or a specific character.

Handwritten cursive script, likely a musical notation or a specific character.

Handwritten cursive script, likely a musical notation or a specific character.

琴調  
貫首

別枝

